

平成20年12月26日
水産庁

水産物の市況について(平成20年12月及平成21年1月)

—東京都中央卸売市場における平成20年12月(平成20年11月21日～12月20日集計)の市況と、
平成21年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成20年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べ増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は横ばいに推移しました。

II 平成21年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。
(全体的に漁獲は低調)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は年末の需要期を過ぎたためやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は魚体が小さいことや需要が減少することから横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べると減少すると見込まれ、卸売価格は強含みに推移すると見込まれます。(日本海側は時化もあり低調。太平洋側は三陸のトロールがやや好調)

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。
(主漁場は山陰沿岸、五島西沖、対馬周辺、駿河湾～伊豆諸島周辺、犬吠埼沿岸)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月と比べると減少すると見込まれるものの、卸売価格は年末の需要期を過ぎたため横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
20年	63	803	56	806	56	774
前年	59	918	56	842	56	813

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	511	69	61	76
さけ・ます(平均)	655	97	101	104
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	102	105
(あきさけ塩蔵品)	469	114	91	116
(ときさけ塩蔵品)	792	99	95	93
(べにざけ塩蔵品)	950	100	92	96
(さけ類冷凍品)	658	100	116	116
さば(生鮮品)	524	95	113	104
するめいか(平均)	375	102	113	87
(生鮮品)	392	103	116	85
(冷凍品)	289	100	93	92
あじ(生鮮品)	505	95	90	83
まぐろ(冷凍品)	1,412	100	95	98
(めばち冷凍品)	960	96	103	102
(きはだ冷凍品)	718	88	100	114
(くろまぐろ冷凍品)	3,654	100	95	123
(みなみまぐろ冷凍品)	1,966	97	66	89

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:12月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成15年~19年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 三瓶、嶋田
直通 03-3591-5612